



りました。そのため、私たちが当たり前に行  
ってきた地域の方々との交流の機会が、私の  
頃と比べて、あまりありませんでした。コ口  
ナが落ち着いてからは、少しずつ様々な行事  
が行われていくようになりました。秋に行わ  
れる神社のお祭りでは、地域の方々や屋台を  
開いてくれたり、太鼓を演奏しに来てくれた  
りと、元の黒瀬に戻っていているなどと思い  
ました。その一方で、小学生と地域の方々が  
一緒にお神輿を担いでの練り歩きや、相撲勝  
負、冬に行われていたとんどは行われないま  
までした。

このようにいろいろな行事が変化していく  
たびに、少しずつ、人と人とのつながりが弱  
くなっているように私には感じられました。

日常生活では体験できないようなとても楽し  
い行事を弟が経験できないのをかわいそうだ  
な。と思う一方で、このまま何年かたったら  
地域活動がすべて行われなくなってしまうの  
ではないかという寂しい思いを強く感じまし

た。地域活動がなくなってしまうと、そこに暮らす人たちのつながりや交流を行う機会がなくなり、私が当たり前のように思っていた黒瀬の温かさがなくなってしまうかもしれない。せん。

黒瀬町は人と人とのつながりが深い町だと私は思います。この人と人とのつながりを守っていききたいです。私が大人になり、おばあちゃんになっても、大人も子供も協力できるような地域活動が続いてほしいです。その為には、そこに暮らす人たちの横のつながりが絶対に必要になります。だから、私は日々の挨拶をもっと大きな声で元気におこなったり、友達と黒瀬の魅力を考えたり知る機会を設けたり、清掃活動や防災訓練などの地域の活動に積極的に参加していききたいと思います。また、笑顔でいることを忘れないようにするなど中学生の私でもできることを行っていく、少しずつでも黒瀬町のためにできることを増やしていこうと思います。